

## 第12回 数学教育学会教員講習会案内

一般社団法人 数学教育学会

会長 岡本 久

研究運営部長 白石和夫

### 講習会開催の趣旨：

数学教育学会では、これまで幾多の算数・数学教育に関する研究を行い、研究成果を公にしてきました。現在では、学会誌の J-STAGE での公開も行っており、学会員でなくとも、本学会の最先端の研究成果に触れることが可能となりました。

そこで、非会員である全国の学校現場の先生方にも、その成果や具体的な教育内容をお知りいただき、日々の算数・数学の教育実践に活用していただくことを目的に講習会を開催する次第です。学会員の皆様も多数のご参加をよろしくお願い申し上げます。

また、本学会の学会員（正会員、学生会員）に入会されましたら、春季年会、夏季研究会、秋季例会などへの参加・発表も可能ですので、ご興味のある方は学会ホームページで入会方法を確認してください。

日時：2024年5月19日（日）14：00～16：00

方法：Zoom によるオンライン開催（後日、オンデマンド配信）

対象：学会員，学校園教員（非会員），教員養成課程学生（非会員）

内容：

14：00－15：30 講演「数理データサイエンスと統計教育で育む思考力」

福山市立大学 太田 直樹

15：30－16：00 意見交換・困りごと相談

### 講演内容：

近年、インターネットなどの情報通信技術、人工知能（AI）などの科学技術の急速な発展に伴って、IoT やビッグデータ、機械学習など、新たな概念を生み出し第4次産業革命が現実のものとなっている。文科省は、2021年度より、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」を開始し、学部を問わず全大学及び高等専門学校において、学生の数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、適切に理解し活用する基礎的な能力を育成することとしている。

数理・データサイエンスを学ぶ素地としては、統計教育やプログラミング教育が位置づけられるであろう。統計教育では、統計グラフや統計量の教育内容だけではなく、それらの知識や技能を用いてデータに対して適切に考察したり、本当に信用できるデータかを判断したりする「統計的思考力」が重要であろう。本講習会では、統計的思考力として、統計における批判的思考、統計グラフを選択する判断力などについて、小学校教育を中心に紹介する。

講師略歴：

太田 直樹 (OHTA Naoki)

福山市立大学教育学部児童教育学科 准教授

京都教育大学大学院 教育学研究科 修士 (教育学)

数学教育学会 正会員

京都市の私立ノートルダム学院小学校にて8年間奉職。その間、西日本私立小学校連合会算数部会運営委員を務める。その後、広島県福山市に移り、数学教育学の指導にあたり、近隣小学校での研究授業の講師を多数務める。

申し込み方法：

下記、URL にアクセスし申し込みを行ってください。申込終了後、申込内容が返信されます。

<https://forms.gle/hJzJcG5dd5EsFbr5>

申し込み締切日：2024年5月12日（日）

参加方法：

Zoom によるオンライン参加を希望される場合、事前に Zoom の URL 等をお送りいたしますので、そちらを用いて参加してください。

オンデマンド参加を希望される場合、会の開催後に限定公開でアップします。後日、URL 等をお送りしますので、公開期間内にご視聴ください。

学会ホームページ・入会等に関する各種問い合わせ先：

ホームページ <https://mes-j.or.jp/>

問い合わせ先 [office@mes-j.or.jp](mailto:office@mes-j.or.jp)